

道路事業

第8期北海道総合開発計画に基づき、主要施策である「食料供給基地としての持続的発展」、「世界水準の観光地の形成」及び「強靱で持続可能な国土の形成」を推進するための道路事業を行います。

オホーツク圏はすぐれた資源（農林水産物、観光、自然）がありますが、他圏域とのアクセスを妨げる峠部が存在し、冬期は流水により海路が閉ざされる中、近年多発する暴風雪や台風などの自然災害が大きな課題となっています。

こうした状況を改善するため、高規格幹線道路等の整備、防災対策など安全・安心で豊かな暮らしを支える道づくりを進めます。

1. 食料供給基地としての持続的発展及び世界水準の観光地の形成を目指す地域社会の形成

◆ 広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

北海道内外の人流や物流の拡大、地域・拠点間の連携を確保するため、高規格幹線道路等のネットワーク構築を推進します。

- ・北海道横断自動車道（一般国道39号）
端野高野道路 L=14.3 km
- ・遠軽北見道路（一般国道333号）
生田原道路 L=5.7 km



国道333号 生田原道路

◆ 「生産空間」を支える「道の駅」の活用・充実

オホーツク管内に広域に分散している「生産空間」を維持するために、「道の駅」を地域の拠点として活用した取組を推進します。



「道の駅」遠軽 森のオホーツクの情報提供状況

2. 「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成

◆ 多様な人材の確保・対流の促進

地域の魅力・課題に精通した地元住民等と協働して、道路の機能・役割を最大限発揮させることを目指す「協働型道路マネジメント」を推進します。

◆ 外国人ドライブ観光の推進

外国人旅行者の急増、個人旅行化、冬期間のレンタカー利用者増加、地域間の旅行需要の偏在に対し、レンタカーを利用するドライブ観光を推進するため、多言語による道路情報提供等の充実、快適なドライブ環境の形成に取り組みます。

◆ 「シーニックバイウェイ北海道」の推進

<シーニックバイウェイ「秀逸な道」 試行区間>
国道243号美幌町 L=17 km



（美幌峠～白樺並木）
（標識の集約化）
（※シーニックバイウェイ「秀逸な道」とは、「世界水準」の観光地の形成に向け、地域と道路管理者との協働で、地域の魅力ある道路景観の重点的保全を行う取組）

ドライブ観光を推進する「シーニックバイウェイ北海道」において、地域の魅力ある道路景観が観光目的となるよう、秀逸な道等について、ドライブ観光客への情報発信・誘導、景観の重点的保全を行うなど、地域と協働した取組を推進します。

◆ 北海道におけるサイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクリング環境を構築してサイクルツーリズムを推進するため、地域や道路管理者等が連携し、安全で快適な自転車走行環境の創出、サイクリストの受入環境の改善及び情報発信等の取組を推進します。

令和2年度 道路事業の概要

路線名	主要事業
国道39号	【北見大通電線共同溝】（電線共同溝の整備促進） 【北見本町電線共同溝】（電線共同溝の整備促進）
E61 北海道横断自動車道（網走線）（国道39号）	【端野高野道路】（高規格幹線道路の整備促進）
国道238号	【紋別防雪】（防雪対策の整備促進）
国道333号	【生田原道路】（地域高規格道路の整備促進）
国道39号ほか	交通安全・交通事故対策の整備促進 交差点改良 : 国道238号 網走市二見ヶ岡（令和2年度新規事業化） 国道238号 紋別市大山（令和2年度新規事業化） 国道244号 網走市北浜（令和2年度新規事業化） 国道333号 北見市仁頃（令和2年度新規事業化）ほか1か所 視距改良 : 国道242号 釧路町北光（令和2年度新規事業化）ほか5か所 路肩改良 : 国道334号 小清水町美和（令和2年度新規事業化） 国道334号 大空町千草（令和2年度新規事業化）ほか3か所 中央帯整備 : 国道39号 北見市留辺蘂 ほか1か所 老朽化・防災対策の整備促進 橋梁修繕 : 国道39号 北見市ほか 舗装修繕 : 国道450号 遠軽町ほか 防災対策 : 国道240号 津別町ほか トンネル修繕 : 国道333号 遠軽町

3. 強靱で持続可能な国土の形成

◆ 防災・減災対策の推進

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格幹線道路等の整備、緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策及び、冬期の安全・安心を確保するための冬期災害に備えた道路の整備を推進します。



国道238号 紋別防雪（防雪対策）



国道243号 道路斜面对策

◆ 道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期的にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。



国道238号 橋梁点検



国道273号 橋梁老朽化対策

◆ 無電柱化の推進【電線共同溝】

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、無電柱化推進計画に基づき、無電柱化を推進します。

◆ 交通安全対策の推進

事故データ、地域の声やビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）」を推進します。



国道243号 交通安全対策

◆ 冬期道路交通の安全確保と暴風雪災害時におけるきめ細やかな地域支援



旭川・紋別自動車道における除雪作業状況

安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため、気象条件や交通状況等を踏まえて、適切なタイミングで除排雪作業を実施します。

また、関係機関で組織する道路防災連絡協議会で相互の連携強化を図るとともに、暴風雪災害時には除雪機械の貸付やリエゾン（注）の派遣による災害関連情報の共有等の自治体支援体制の構築を継続的に実施します。

（注：重大な災害の発生又は発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として自治体へ派遣する職員）

● 除雪現場の効率化に向けた取組 i-Snow.

i-Snow. の取り組みの一環として、網走開建管内の知床峠において、準天頂衛星「みちびき」によるガイダンスシステムを用いた、「より高度な投雪作業の自動化」等の実証実験を行い、除雪現場の省力化を目指す取組の効果検証を行います。

